

《Lesson 3》 進行形 否定文

進行形の否定文や疑問文は、基本的に be 動詞と同じ扱い になります。そのため、否定文の場合、be 動詞の後に not を足してあげれば完成となります。

【進行形の否定文：基本の形】

主語 + be 動詞 + not + 一般動詞の原形 ing + 。

(「主語」は「一般動詞」していません)

(「主語」は「一般動詞」していませんでした)

<例> He is not (isn't) studying English. (彼は英語の勉強をしていません)

She was not (wasn't) working here yesterday. (彼女は昨日ここで働いていませんでした)

【作り方】

ステップ1：進行形の肯定文を作る。

ステップ2：be 動詞の後ろに not を足す。

(am 以外の be 動詞の場合、be 動詞と not の短縮形を使うことも可)

<例1> 「彼は英語の勉強をしていません」という文の場合。

ステップ1：進行形の肯定文を作る。→ 「彼は英語の勉強をしています」

He is studying English.

ステップ2：be 動詞の後ろに not を足す。

He is not (isn't) studying English.

<例2> 「彼女は昨日ここで働いていませんでした」という文の場合。

ステップ1：進行形の肯定文を作る。→ 「彼女は昨日ここで働いていました」

She was working here yesterday.

ステップ2：be 動詞の後ろに not を足す。

She was not (wasn't) working here yesterday.

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。